



がんばれ元気



長谷川 里 穂さん(12)  
 〓 遅羽町北山 〓

人と動物  
 いつまでも仲良く

野生動物の餌場づくりを目的として開かれた「交流の森づくり」に、緑の少年団の一員として参加した長谷川里穂さん。

「山に緑を植えれば、人や動物にとって必ずいいことがあると思います」と、話す長谷川さんは、緑に囲まれた勝山の自然が大好きだそうです。休日にはお父さんに連れられて山登りをするのも多いという長谷川さん。今年も県外の山に登ってきたそうです。また、学校では自然観察クラブに所属している長谷川さんは、市内の川や森で魚や昆虫、植物などの生態を調べながら、身近にある自然とのふれあいを楽しんでいます。

「自然がいっぱいの勝山に住む私たちと動物たちがいつまでも平和に暮らしていけたらいいな」と話しながら、参加したほかの仲間といっしょにドングリの苗木を1本1本ていねいに植えていました。

10月29日には、市民会館大ホールで恐竜ミュージカル「ドラゴン・ファミリー」〜恐竜になった女の子〜が公演されました。昨年の国民文化祭プレ大会で公演された恐竜ミュージカルよりも舞台美術もにぎやかになり、出演者も増えました。

ア、出演者、スタッフ約120名の汗と努力が結晶となった見ごたえのあるミュージカルとなりました。公演後の、脚本・総監修の横山由和氏と制作担当の川村信治氏へのインタビューの内容を掲載します。

「恐竜ミュージカル」はつぎの日程でも公演されます。ぜひご来場ください！

**親子で楽しむ恐竜ミュージカル「ドラゴンファミリー〜恐竜になった女の子〜」**

とき 12月18日(日)  
 午後11時15分開場  
 午後2時開演

ところ ハーモニーホールふくい 大ホール

料金 全席自由 1,000円  
 (5歳~大学生は半額、4歳以下無料)

チケットのお求めは、  
 チケットセンター  
 ☎0776-38-8282

いたりといろいろなことがありました。本当に、稽古は財産だと思えます。勝山の自然は貴重なものです。自然と共に生活することが、勝山市民の優しさの基であること、この舞台を通じて確認し、見て喜んでもらうのが何よりです。このミュージカルを、国民文化祭だけに限らず毎年公演してはと思います」

(川村氏)「大成功でした。出演者が楽しく演じていて、それが観客にも伝わり、会場が熱い雰囲気になりました。また、観客の笑いや感動が舞台に届き良かった。稽古の成果が舞台に出たと思えます。これだけのミュージカルを勝山でもできることが証明されたことで、これからの自信にもつながると思います。」

恐竜ミュージカルを勝山の自信に  
 「恐竜ミュージカル」出演者とスタッフのみなさん



やりたいことがあればとにかく動けよう！

竹原 育 美さん(24) 〓 郡町1丁目 〓

青春 ing



竹原さんは、現在、福井大学大学院建築建設工学を専攻し、地域居住研究室で住民参加のまちづくりについて調査研究をしています。

間へと変貌させています。竹原さんは、企画を立て、多くの人と交流することが大好きな行動派です。このため、「やりたい事があれば、躊躇しない。迷うくらいなら、とにかく失敗を恐れず動こう。苦労すれば、いつかやっとなったという時がある」をモットーにがんばっています。「将来は、まちづくりの事に就き、福井のまちづくりにぜひとも関わりたいです」と笑顔のとても素敵な女性でした。

すてきに人生



健康を第一に、生きる喜びをかみしめる

林 守さん(81) 志ずゑさん(80) 〓 高島 〓

「郵便局を定年退職して始めたゲートボールを今も続け、約20年が経ちました」と語る林 守さんは、健康であることをモットーに、第2の人生を送っていらっしゃいます。ゲートボールの県大会を始め全国各地の大会などに参加し、勝山ゲートボール協会の事務局を務めるなど、ゲートボールと歩んできた20年は、健康との歩みでもありました。

また、林さんは、14年前にウォーキングも始め、1日約50分程度のコースを5つ定め、日替わりで、ご夫婦一緒にウォーキングを楽しんでおられるとのこと。

奥さんの志ずゑさんは、30年近く手芸に丹精を込めてきました。デザインや寸法の計算、布の染色などすべてがオリジナルでできた作品は、公民館や地域の人々に配られ喜ばれています。

林 志ずゑさんは、この技を活かし、猪野瀬のふれあいサロンで手作り教室の講師を務め、御主人が手品を披露するなど、夫婦共にボランティア活動で地域に貢献しています。

林 守さんは、健康を管理する中で、「昔からの格言は大事にし、気を緩めず、体を動かして、年齢に負けないよう自己管理に徹して欲しい」と、健康第一が人生を楽しむ基本であることを強調されました。